

新型コロナウイルス感染症対策による臨時休業に伴う 令和2年4月からの『中学数学』のご指導について

日本文教出版株式会社
中学校数学編集部

本資料は、弊社発行教科書『中学数学』をご使用いただいている学校において、このたびの臨時休業措置によって指導できなかった可能性がある内容の取扱いについてまとめたものです。令和2年度の年間指導計画作成に際しましては、下記の情報を参考にいただき、各学校の実態に合わせてご対応くださいますようお願いいたします。

■令和2年度 新2年生への対応

令和2年3月に指導予定で、指導できなかった可能性が高い内容

○教科書『中学数学1』

7章 資料の活用 (p.224～246)

※ただし、移行措置のため「誤差や近似値、 $a \times 10^n$ の形の表現」に関する下記の内容は除く。

- ・ p.238～239 1節「4 近似値」
- ・ P.243 基本の問題の3
- ・ P.244 7章のたしかめの1(3), 3

○『中学数学 移行用補助教材 2019年度第1学年用／2020年度第2学年用』

★ 累積度数と累積相対度数 (p.4～5)

◇上記の内容で指導できなかったものについては、教科書『中学数学2』の「6章 確率」の前にご指導ください。

■令和2年度 新3年生への対応

令和2年3月に指導予定で、指導できなかった可能性が高い内容

○教科書『中学数学2』

6章 確率 (p.166～184)

◇上記の内容で指導できなかったものについては、教科書『中学数学3』の「8章 標本調査」の前にご指導ください。